

# Market Report

2023年12月号



# インドネシアのパーム油生産量及び価格見通し

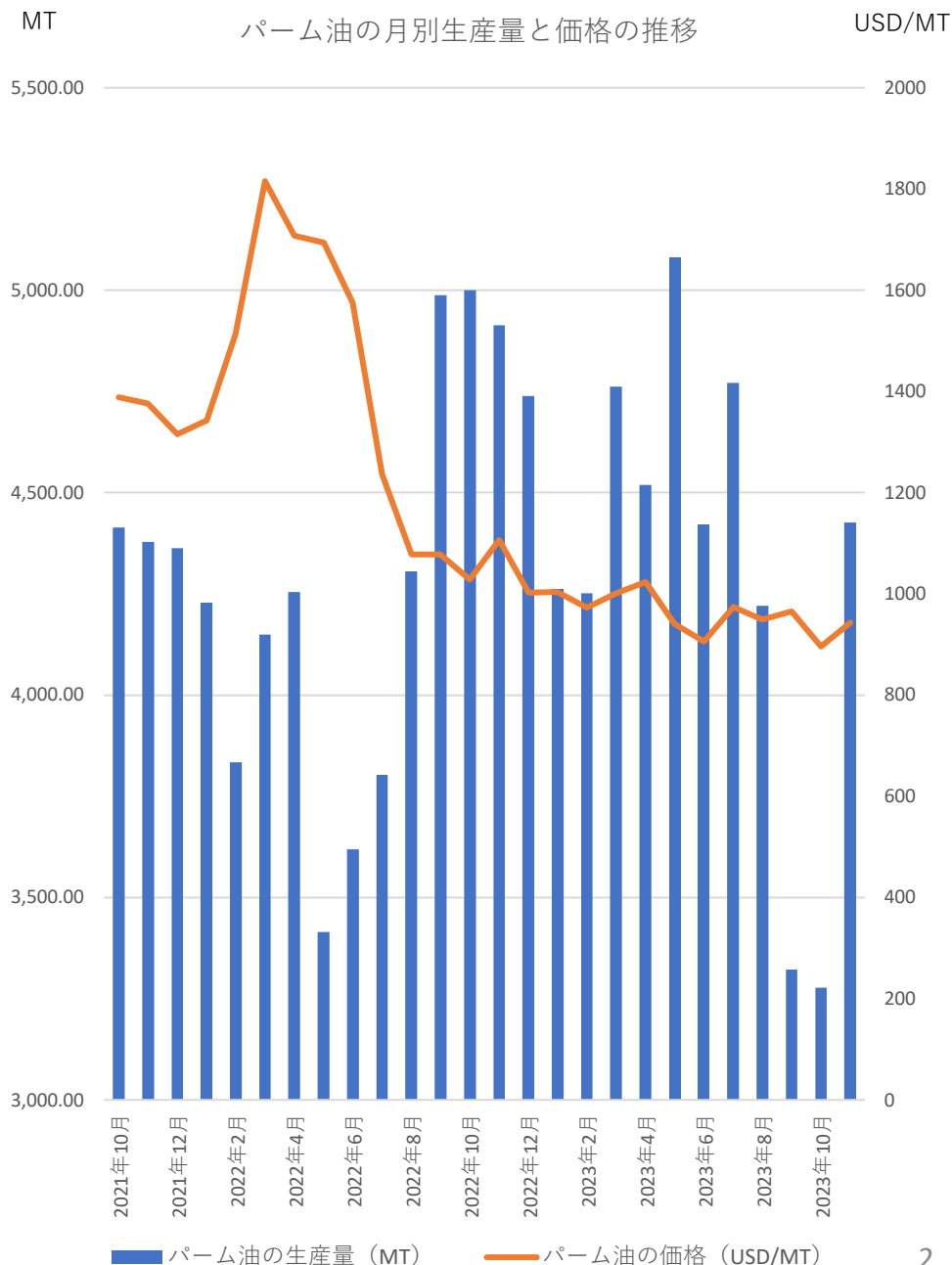
## 1. 実績

2023年11月のFFB価格は、ほとんどのFFB生産州で2023年10月のFFB価格に比べ上昇した。FFBの最高価格は2,544.20Rp/kgの北スマトラ州で、最低価格は1,603.59Rp/kgの西パプア州であった。一方、CPOの最高価格はRp. 11,705.21Rp/kgで中部カリマンタン州で、最低価格は10,491.21Rp/kgで西スラウェシ州で記録され、作付け年数による平均価格は2,379.62Rp/kgでリアウ州が最高で、最低価格は1,962.07Rp/kgで西スラウェシ州で記録された。

## 2. 見通し

インドネシアでは12月に入り雨期が続いているため、パーム油の生産量が上がると予想される。

また、現在インドネシアでは軽油にパーム油を35%混合させたB35のバイオディーゼルがガソリンスタンドで普及しているが、パーム油の混合率を40%に上げたB40の使用に向けて現在政府が動いているため、国内需要の増加を考えるとパーム油価格はこの先上がると推測される。





# インドネシアからのPKSの輸出量及び輸出額見通し

## 1. 実績

2023年10月のインドネシアのPKS輸出量は403,768.648トンで、497,957.17トンと記録された9月の輸出量と比較すると94,188.518トン、約18.91%減少した。また、2023年10月のPKS輸出額は48,739,167 USDを記録した。最大の輸出先は日本であり、輸出量は388,626.068トン、外貨換算額は47,168,537 USDを記録した。（日本へのPKS輸出量は、インドネシア全体の輸出量の約96%を占める）

## 2. 見通し

12月も雨期により、パームヤシの収穫量とPKSの発生量は上昇すると考えられる。

